



美原&美原東

ロイヤル・ニュース

MIHARA & MIHARA-HIGASHI ROYAL NEWS 2013-2014 WINTER Vol.26

○平成25年12月5日発行(年2回) ○発行人/野瀬泰良 ○企画・編集・発行/(宗)宙眈教霊園管理部

美原東ロイヤルメモリアルパーク 十二月十四日、 第三期拡張計画を申請

十二月には羽曳野市長から許可を受ける予定

所有者からの依頼もあつて、責任役員会議の議決を経て、美原東ロイヤルメモリアルパーク隣地山林八百坪を近い将来の拡張用地として五月二十三日に購入したことは既にお知らせいたしました。その後この土地を同霊園の第三期墓地エリアとするため、敷地内に監督官庁が定める数の駐車場や必要面積の緑地を確保しながら、消費者のお墓への考え方の変遷を考慮しつつ新霊園の設計を進めることになりました。

美原東ロイヤルはこの第三期の工事が完成すれば、姉妹霊園の美原ロイヤルとほぼ同じ面積の霊園になります。

土地購入後、敷地内の細部に渡っての測量をした後、霊園代表の野瀬と松原市の山本建築設計事務所との共同作業によって霊園の設計が数ヶ月に渡って検討され、十月に第三期の霊園設計図がようやく完成いたしました。それにより、羽曳野市長様の許可が得られ

美原東ロイヤルメモリアルパーク



「新時代のお墓を選ぶ会」用墓地

第三期については、お墓に対する消費者嗜好の時代的な変化を考慮して、新しい企画を二点ばかり企画しています。詳しくは次頁に掲載させて頂きました。

美原ロイヤルメモリアルパーク 玄関前の駐車場が二カ所に纏められ、 広くなりました

美原ロイヤルメモリアルパークの玄関南側の駐車場の隣地で残土処分を営んでいた企業が他所に移転したのを機に、十月十六日より同霊園の駐車場としてそちらも合わせて使用することになりました。その代わり、以前北側の駐車場としていたところは、霊園の墓石組み立て、設置工事をする業者が十月から全面使用することになり、美原ロイヤルのメインゾーンの駐車場として、これを以て玄関の南側の二箇所に纏まり、又駐車台数も増えることになりました。



盛土である駐車場拡張地が十分に踏み固まる春の彼岸前に舗装を行なう予定です

準備作業が進む既墓地使用者の 管理料口座振替

前回の霊園新聞にもお知らせいたしました通り、美原ロイヤル、美原東ロイヤルの霊園施主である宗教学法人宙眈教、霊園事業部、霊園管理部の今後の経費合理化を図るために、又墓地を使用される皆様の利便性を少しでも追求するために、これまで郵便振替にて二年毎に墓地管理料を払って下さっていたのを、平成二十六年四月以降更新時期が到来する方から順次、毎年払いの銀行口座振替に変更することといたしました。

具体的なお知らせとしては、先ず四月に更新時期が到来するお客様には、年が明けて直ぐの一月に、口座振替の手続き用紙を、返送用封筒を付けて、郵便で送らせていただきます。お客様には誠に手数をお掛けし、申し訳ございませんが、どうか定められた期間内に書類に必要事項を書き込み、銀行印を捺印いただき、霊園管理部宛へ返送いただきますよう、伏してお願ひ申し上げます。もしも期限内にご返送いただけない場合は、振り替え手続

皆様から頂いた浄財を フリーピン被災者に

皆様から両霊園の礼拝対象に御賽銭として平成二十五年の四月から十月までにいただきました浄財、合わせて六万四千円の内から、六万円を今般台風三十号の被害で苦しむフリーピン被災者に宗教法人から赤十字を通じて十月二十日に送らせていただきました。

霊園新聞廃刊のお知らせ

当霊園新聞は霊園と墓地使用者の皆様との絆を深める為に平成13年から13年間発行を続けて参りましたが、そろそろその使命は全うされたものとして、後二回を以て廃刊することとし、以後霊園行事予定については、郵便やホームページでお知らせすることに、又霊園管理部の決算公告は、毎年七月に霊園管理棟内にて掲示したいと存じております。どうか皆様にはご厚情とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

謹賀新年

新年を迎え平素のご厚情を深謝し、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。本年も霊園運営にご協力のほど宜しくお願ひ申し上げます。

平成26年元旦



宗教法人 宙眈教

宙界神社

堺美原宗務部 大阪府堺市美原区小平尾1059-26
羽曳野宗務部 大阪府羽曳野市植生野1148-3

美原ロイヤルメモリアルパーク霊園施主
美原東ロイヤルメモリアルパーク霊園施主

美原東第三期に出来る予定の

新時代のお墓、一企画

美原ロイヤル並びに美原東ロイヤルでは、以前からお墓に対する消費者需要の変化を先取りし、色とりどりの洋式スタイルのお墓が並ぶガーデン墓地を企画したり、お墓の承継者が将来いなくなる人や子孫に負担をかけたくない人の為の各種永代供養墓を企画して参りましたが、今回の美原東ロイヤルメモリアルパークの第三期拡張に当たっては、更に新しい企画を考案中です。

ひとつは「ウイズペット」という企画です。これは文字通り、ペットと共に同じ敷地(墓地)のお墓に入るといふもので、勿論一般の墓地とは遮断して、木々や塀や花壇で囲まれた独立したコーナーを造ります。ペットを飼う人が生きている間、何度か可愛がつてきたペットとの別れに遭遇せねばなりません。ペット用のお墓さえあれば、その都度埋葬場所に悩む必要はありません。

もう一つは、最近では東京を中心とした南関東四都府の一極化が進み、長く関西にいた人でも仕事の都合で関東に引越せねばならぬことがよくあります。こんな場合、地方でお墓を買ってしまうと後が大変なことに。また収入はそこそこ有っても、蓄えはそうでもなく、今お墓に纏まった資金を使うのはどうも、というふうな方も案外少なくないのではないですか。そういう方々の為に、お墓を購入しないで、使用だけをするシステムを考えました。それが第三期のオープンと共に営業が開始される「会費制永代供養墓(新時代のお墓を選ぶ会)」です。当事業は霊園の子会社、関西メモリアルが担当します。入会も退会も自由でこのシステムの最大の特徴は、お墓が不要になって退会する時に、元々残債というものがありませんので、いつでもお墓を返して下さったら良いのです。又契約上の定

めで骨壺のまま埋葬される遺骨なので、退会時に持ち帰ってもよし、永代供養墓に改葬してもよし、と変わります。会員は何時でも専属の永代供養墓に無償で改葬ができることになっています。

コースの場合、入会金三十五万円を支払い、お墓のスタイルを選んで家の名前や埋葬者、建碑者の名前を彫って使用しても、月々のお支払いは僅か六千八百円で、無論退会は自由です。正に新時代のお墓だと思います。



関西メモリアル「新時代のお墓を選ぶ会」用のお墓と併設の永代供養墓「永(とこしえ)」(イメージ図)「光」コースは所謂お墓のレンタル契約の変形だが、長期ローンでお墓を買い取りたい人には別に「宙(そら)」コースがある。

【シリーズ】太平記時代の河内を探訪する(第二部)

第五回 楠軍、幕府大手軍先鋒隊と瓢箪山付近で激突する

(宗)宙跡代表役員 野瀬 泰良

思い出していただく為にこれまでの概略を纏めよう。三三七年十二月十七日、吉野では、南朝方が総力を賭ける武家方との決戦を前にして、南河内の楠正行(まさゆき、二十二歳)正時兄弟(従兄弟)になる和泉の和田行忠(二十二歳)、賢秀兄弟が召集され、後村上天皇(二十歳)の御前で最後の軍議が開かれた。味方の兵力は、四条隆資(たかすけ、五十五歳)卿が大手や紀州で集めた郷土軍を含めても、やっと九千。対する敵兵力は、将軍執事、高師直(たかすけ)もろお(四十七歳)が大手の大将、弟師泰(もろやす、四十六歳)が搦手(からめて)の大将となって、全国に動員令を発して集めた一騎当千の武將達、その数は優に五万を超えていた。

しかしこの状況こそ、半年前、正行初めて御前での臨席が許され、その昔息子顕家(あきえ)に援軍を断つた楠家には浅からぬ恨みを持つ軍師、北畠親房(ちかふさ、五十六歳)大納言が狡猾に仕切った軍議が正に求めたものだ。もしも南朝方が奇跡の挽回を目指すなら、河内平野ではなく、小が大に勝つ吉野の宇智郡(五條市)の深山幽谷を決戦場にしなければならなかった。そこまでは軍議に列席した全員が考えた。しかしその為には今回の前哨戦に撒き餌を敵に差し出さねばならない、即ちこれを一大決戦に見立て、楠和田精鋭軍が敵の見る中で全滅してこそ、敵の警戒心を解き、楠領の東条ではなく、遙か南の吉野山の侵攻へと敵を誘えるというものだ。問題は、この秘められた罠(おとり)作戦は、軍議の席上では一切口外されず、正行と親房二人の腹の中だけに納められていたことだった。

楠正行の辞世の歌まで書き直す「太平記」の文学センス
今回の大胆な作戦を発案された後村上天皇でも、まさか一番頼りにされていた楠和田騎馬軍団が、この東高野街道での前哨戦で玉砕を覚悟しているなどとは想像もされていなかった。その証拠に若き天皇は何度も正行の縁談を進めようとなされたくらいだ。

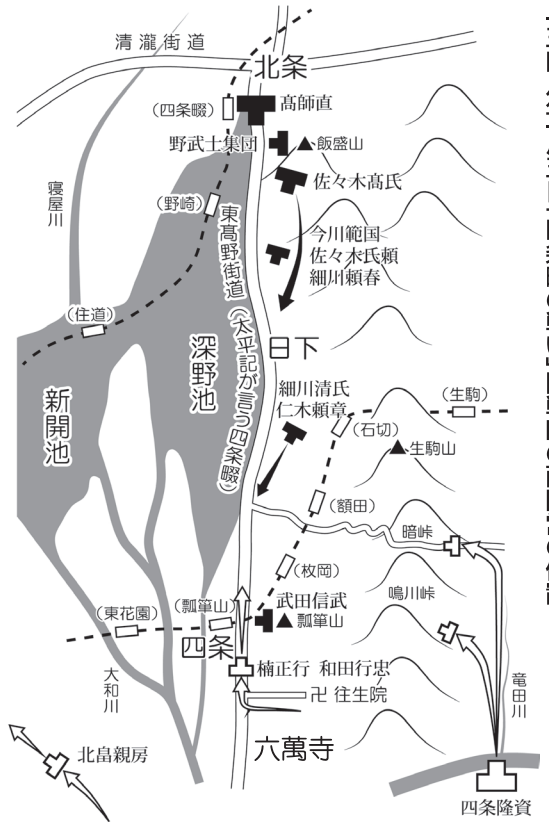
され、何度も血を吐くことがあったことから、自らの死期を悟った正行が、潔い武將としての、忠君正成の息子としての、栄えある死に場所を求めていたのだ、とも言われている。

梓弓は、この歌では「帰らじ亡き返さじ」という言葉と対語である。弓弦から放たれた矢は自然の理によつて返せない。であれば梓弓は先に来るのが自然である。だから正行が作ったオリジナルは、太平記ではなく、後者二首のいずれかと考えるべきではないか。しかし「太平記」の作者は相当な文学者だ。梓弓をわざと後ろに持つてきて、亡き数に入る。「射る」に見立てて、射るの枕詞まぐら(ことば)として梓弓の位置を定めたのだ。

正行の父、正成が武家の身でありながら、武家方を裏切つて醍醐天皇にお味方することになったのは、帝側近の日野俊基(としもと)卿の強烈な尊皇思想の影響によるものだった。天皇は楠家の花嫁として、父正成とは縁が深かった俊基卿の忘れ形見であつて、南朝二代の天皇にお仕えした弁内侍(べんないし) 二十二歳)に白羽の矢を立てられた。既に戦死を覚悟した正行は、和歌でやりわりとご辞退申し上げたが、天皇が執拗に口にされ、内侍もこの半年幾度か正行に逢う機会があつて、すっかりその気でおられたので、仕方なく正行は、この連の戦が勝利する暁には、と口を濁して、天皇や内侍の期待を先延ばしにするしかなかった。一説では、正行の身体は結核に冒

のか、真偽の程ははつきりしない。正行の戦い振りの研究者であつた田中俊資(としすけ) 関東軍参謀(氏は、正行の辞世の歌として、太平記の歌とは違う二首を古文書から探し出した。先ず「太平記」では「帰らじと かねて思はば 梓弓、亡き数に入る。名をぞ止むる」だったが、氏の調査によれば、毛利家に伝わる「本太平記」には「梓弓、引き返さじと思ふより、亡き数に入る。名をぞ止むる」とあつて、「穴生記(吉野山から穴生、即ち賀名生に遷座した後の南朝の記録か)になると、「梓弓、引き返さじと思ふにぞ、亡き数に入る。名をぞ止むる」とあるようだ。

余談だが、「太平記」の作者(諸説あるも不明)が、いかに自己の文学才能を世間に披瀝したかたかは、このシリーズ第一部の湊川の章で、湊川の戦いと後世の四條畷の戦いを因縁づけ、話の展開を面白くしようと、正成自刃の時、事実を曲げて差し違えた相手を入れ替えたことは、既に私が正季の霊牌や湊川神社祭祀者名簿で証明済みだ。それ思い出(かい)さん)されたかもしれない疑問も納得いただけるだろう。もしもそれが事実なら、如意輪寺のあの戸板も、「太平記ファン」によつて捏造されたものとなるだろう。



戦場と伝える「四條畷」とは、今の四條畷市のことではなかった。年が明け、正平三年(三三八年)正月三日、淀、男山帯に集結していた高師直率いる足利幕府大手軍三万七千騎は東高野街道を、南河内の楠領東条赤坂を目指して南下を始め、二日にして河内全域(枚方市、交野市、寝屋川市、四條畷市)を制圧した。

又山崎から西国街道を西進し、渡辺橋、天満橋から河内に入った高師直率いる搦手(からめて)軍一万三千騎は、西の和泉に軍を進め、同日、堺浦に着陣し、南の和泉氏と向かい合った。年末から醍醐天皇の三の宮、建武中興の悲劇の功労者、護良(もりなが)親王の遺児、新たに征夷大將軍に任じられた興良(おきなが)が、十四歳親王と共に巻尾山に構えられた南朝本営にいた北畠親房大納言は、同日現地に残って指揮をとる親王に三百の兵を残し、自ら伊勢、紀州、和泉の二千五百の兵を率いて池尻(大阪狭山市)まで軍を進め、西をにらんで師泰軍の東条・赤坂への進軍を牽制した。



北上を開始する。今回の戦いの楠軍の本営となる往生院にまで軍を進め、従う兵らを付近の森陰に隠した。又南朝方の本隊とも言うべき四條畷山へ陣張を命じた。師直の作戦は、幕府軍精銳の武田軍で釣つて、楠軍精銳部隊を騎馬隊が自由に動けない「畷(なわて)」と呼ばれる街道の隘路(あいろ)におびき出すことだった。瓢箪山とは現在の瓢箪山稲荷神社の境内だが、街道を見渡せる小高い丘陵だ。

将には街道を更に南下させ、生駒連山西麓の要所に陣を張らせた。特に武田信武には、正行が陣取る六萬寺とは目と鼻の先の最前線、四條、瓢箪山への陣張を命じた。高野街道の北条(JR四條畷駅付近)に自らの本営を置き、配下の細川、佐々木、千葉、今川、六角、仁木、宇都宮、武田の諸

幕府軍、正行の決死の猛戦に震撼する。正月五日の朝が明ける。二千の楠和田精銳軍には今回は弓や槍を持つ歩兵が多数混成されていた。彼らは騎馬隊の後ろに附いた。彼らは瓢箪山に陣取る武田軍二千の兵を無視する形で街道を北上しようとした。



ようで縄手(畷)と呼ぶ人がいた。尤も十四世紀ともなれば、深野池には殆ど水は無く、泥が堆積した湿原であつただろう。戦場は深野池の堤を含め、生駒山西麓の僅かな幅の平坦部だった。だから正確には「四條北条間の縄手道の戦い」と言うべきだ。ところが、敵を蹴散らし、畷部分を突き抜けた楠兄弟、和泉兄弟らが揃つて敵の本営があつた北条の地で戦死すると、彼らの塚が残る地が戰場だったと誤解され、「北条」が後に「四條畷」と呼ばれるようになったという誤だ。同畷の山麓にある四條畷神社も、楠公父子と尊皇思想を賛嘆、謳歌した近代日本の世相の中で新たに創建されたもので、これも地名の証明にはならない。後世勘違いで「四條畷市」ができたにせよ、それをそのまま「太平記」の所為にできないが、地名が無かつた戦場に地名を創つてまで戦いの名としたことでは、全くの責任が無いとも言えないだろう。

武田軍は好機到来と楠軍の後陣の歩兵部隊を襲つた。歩兵達は待つたばかりに、矢の雨を降り返り、武田の騎馬兵らに矢の雨を降らせた。矢の雨をかい潜れた者もいたが、槍で馬脚を払われ、落馬し討ち取られた。半数以上の兵を失つた武田軍は畷田付近に退却する。武田に続く細川清氏、仁木頼章らの兵も北上する楠軍を襲つたが、結果は再び武家方の敗北に終わった。十時過ぎには、正行たちは高野街道を日下(くさか)に迄達していた。そこへ右手の山麓から迫つて来たのは、生駒山麓の高台から戦況を眺めていた、將軍尊氏の知己でもある佐々木道尊高氏の二千の騎馬兵だった。

佐々木騎馬隊は、数に任せて楠軍歩兵隊の中に怒濤のようになだれ込んだ。弓隊も槍隊も彼らの馬蹄に蹂躪されて行く。楠和泉軍の騎馬隊もその中に突っ込んで行った。喚声と剣戟の音が生駒連山にこだまする大乱戦が続いた。やがて風が吹いて砂塵が四散すれば、そこら中屍が累々と横たわつていた。両軍共に二百を超える死者を出した模様だ。しかも正行にとって楠軍は味方の大半が負傷兵となつたことだ。佐々木軍も損害が大きかつたこと見え、四散して戰場から姿を消した。

Advertisement for 'Pet Adoption' (ペット合同供養墓) by Kansai Memoworld, including dates for adoption events and contact information.

霊園から年末年始、
春季彼岸のご案内



年末年始の墓参は、十二月二十一日(土)～一月五日(日)

今年の年末年始の墓花は松竹梅を付けて二千五百円。「皇室カレンダー」(先着二百五十名)は従来通り付けさせていただいております。但し数量に限りがあつて年末までにカレンダーが品切れになるので昨年同様「年末年始墓花予約券」(十二月二十日まで二千五百円)をご購入いただき、先行してカレンダーをお渡しする制度を設けております。

春季彼岸の墓参は、三月十五日(土)～三月二十三日(日)
この期間 墓花は仕入原価が上つて千八百円となります。彼岸の墓参は二十一日(金)～二十三日(日)に集中するかと思われまふ。駐車場は午前中がいつも一杯となりますので、墓参時間を午後や夕方にされるのもひとつの選択でしょう。また、夜の霊園は夜間照明を実施しております。
尚、二十一日(金)～二十三日(日)は送迎バスを増便いたします。

GW期間 平成26年5月				
7	6	5	4	3
水	火	月	日	土
定休日	通常	通常	通常	通常
定休日	通常	通常	午前十一時～三時 特別永代供養会 圓乗寺	通常
墓花 1,300円				
運休日	通常	通常	通常	通常

春季彼岸期間 平成26年3月						
23	22	21	20	19	18	15
日	土	金	木	水	火	土
通常	午前十一時～三時 佛乗寺永代供養墓 春季彼岸会	午前十一時～三時 法願寺涅槃陵供養会 靈園主催春季彼岸会	通常	臨時開館	通常	通常
通常	通常	午前十一時～三時 靈園主催春季彼岸会	通常	臨時開館	通常	通常
この期間墓花 1,800円						
	増便		通常	臨時運行	通常	通常

年始 平成26年1月					年末 平成25年12月							月
5	4	3	2	1	31	30	29	28	23	22	21	日
日	土	金	木	水	火	月	日	土	月	日	土	曜日
通常	通常	午前九時～三時 開館時間 午後三時	午後二時閉館	午後二時閉館	午後二時閉館	通常	通常	通常	通常	午前十一時～ 法願寺涅槃陵供養会	通常	美原
通常	通常	午前九時～三時 開館時間 午後三時	午後二時閉館 勝手手前閉館します	午後二時閉館	午後二時閉館	通常	通常	通常	午前十一時～三時 圓乗寺永代供養墓供養会	通常	通常	美原東
この期間墓花 2,500円(松竹梅付き)												墓花
通常	通常	各二便 午前中	臨時運休	各二便 午前中	通常	通常	通常	通常	通常	通常	通常	送迎バス 墓参

平成26年1月～12月
特別休業日

霊園管理部におきましては、右記日程を振替休日とさせていただきます。

平成二十六年	2月3日(月)、2月4日(火)
	3月3日(月)、3月4日(火)
	5月12日(月)、5月13日(火)
	6月2日(月)、6月3日(火)
	7月7日(月)、7月8日(火)
	8月4日(月)、8月5日(火)
	9月1日(月)、9月2日(火)
	11月4日(火)、11月6日(木)
	12月1日(月)、12月2日(火)

美原ロイヤル&美原東ロイヤル墓参送迎バス出発時刻表 全便予約制。

南海北野田駅東口 ライブ第二駐車場発		近鉄松原駅南口 ロータリー発	
第一便	9:30	第一便	10:10
第二便	10:55	第二便	11:40
第三便	14:30	第三便	13:50
第四便(彼岸)	16:10	第四便(彼岸)	15:30

■詳しくは、美原ロイヤル事務所までお問い合わせください。(072)363-1114

2014年 **皇室カレンダープレゼント!**

着二百五十名様様に宙界神社からプレゼントされます。

- 美原ロイヤルメモリアルパーク**
- 平成25年冬季 法願寺涅槃陵供養会
美原ロイヤルB地区 ■12月22日(日)11:00から 導師 高野山真言宗 法願寺
 - 平成26年 霊園主催春季彼岸供養会
美原ロイヤル先祖供養堂 ■3月21日(金祝)10:30から30分 導師 高野山真言宗 法願寺
 - 平成26年 法願寺涅槃陵春季彼岸会
美原ロイヤルB地区 ■3月21日(金祝)11:00から30分 導師 高野山真言宗 法願寺
 - 平成26年 佛乗寺永代供養墓春季彼岸会
美原ロイヤルL地区 ■3月22日(土)10:30から 導師 真宗大谷派 佛乗寺
 - 関西メモワール主催ペット墓「愛」合同供養祭 美原ロイヤルウェストゾーン
■平成25年12月22日(日)10:30から ■平成26年3月16日(日)10:30から
■平成26年6月22日(日)10:30から 導師 高野山真言宗 法願寺

- 美原東ロイヤルメモリアルパーク**
- 平成25年冬季 圓乗寺永代供養墓供養会
美原東ロイヤルメモワール神殿前 ■12月23日(月祝)11:00から 導師 浄土真宗本願寺派 圓乗寺
 - 平成26年 霊園主催春季彼岸供養会
美原東ロイヤル法要室 ■3月21日(金祝)11:30から30分 導師 浄土真宗本願寺派 圓乗寺
 - 平成26年 集合型永代供養墓・合祀墓「絆」・春季彼岸供養会 圓乗寺永代供養墓
美原東ロイヤルJ地区 ■3月23日(日)10:30から30分 導師 日蓮宗 朝日寺
 - 平成26年 圓乗寺特別永代供養会
美原東ロイヤルメモワール神殿前 ■5月4日(日)10:30から30分 導師 浄土真宗本願寺派 圓乗寺



謹賀新年

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
より一層、人と人とのつながりを大切に、誠実で真心のこもったサービスを心掛けて参りますので、本年も宜しくお願い申し上げます。

平成二十六年 元旦

霊園・墓石のことなら

丸長石材

本社 〒547-0021 大阪市平野区喜連東3-5-65
TEL.06(6709)4468 FAX.06-(6790)5053
営業時間/AM9:00~PM.6:00(定休日:水曜日)

瓜破営業所 〒547-0022 大阪市平野区瓜破東3丁目1-17
TEL.06(6709)4471
営業時間/AM9:00~PM.6:00(定休日:水曜日)